

会合

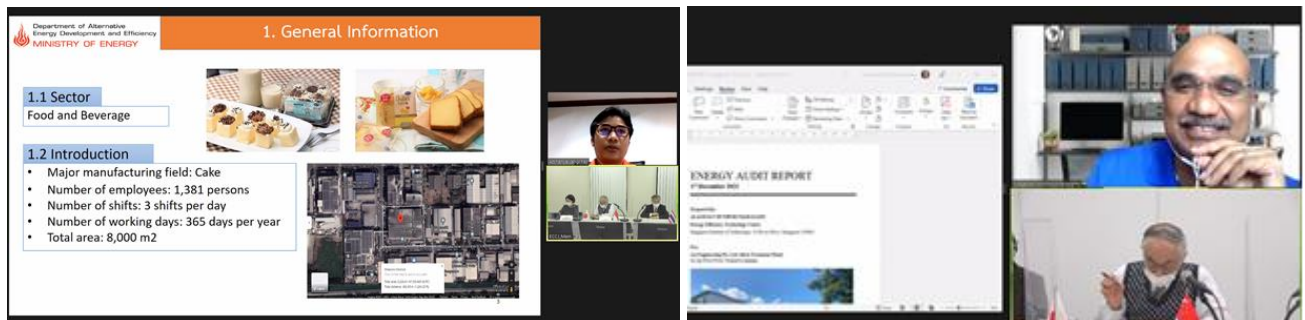
令和3年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の省エネ診断中間チェックを実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁の委託を受けて、「令和3年度の ASEAN に対する省エネ人材育成事業」のスキーム2（エネルギー管理士の指導者の養成や、認定制度の整備・改善を行うプログラム）を実施しています。その一環として、2021年11月30日、12月1, 2, 7, 8, 9, 21日の7日間、ASEAN 各国のエネルギー管理士指導者を育成するため、2022年1月に行われる、指導者候補による省エネ診断の最終評価に向けた中間チェックを実施しました。本プログラムは、指導者候補である研修参加者が自国で実施した省エネ診断の進捗状況を確認するものですが、本年度は COVID-19 の影響により、自国での診断が行えていない指導者候補に対しては、ECCJ から本研修用に用意したデータを提供し、それを基に省エネ対策を検討・提案してもらう、新たな訓練方式（バーチャル省エネ診断）で実施しました。



オンライン中間チェックの状況（ミャンマー&インドネシア）



オンライン中間チェック状況（タイ&フィリピン）

【成果概要】

- (1) 今回の研修には、ASEAN 各国からエネルギー管理士指導者候補 20 名が参加しました。
- (2) ブルネイ・カンボジア・シンガポールの候補者 5 名は自国で実際に省エネ診断を行っているため、その診断状況について確認しました。その他 7 か国の 15 名に対してはバーチャル省エネ診断を実施しました。
- (3) バーチャル省エネ診断では、過去 5 年間に本プログラムで使用された診断報告書から必要なデータを抽出して参加者に提供しました。参加者はそのデータを基に省エネ対策を考察し、レポートとしてまとめました。
- (4) 初めての試みであるバーチャル省エネ診断でしたが、参加者は省エネ診断ハンドブックを参考に創意工夫しながら省エネ対策の考察・診断レポートの作成を行うなど、積極的に取り組む姿勢が見られました。